



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻
第1号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第1号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1980, 26(1): 118-118

ISSUE DATE:

1980-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122566>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 26 巻 第 1 号

1980年1月

- 腎細胞癌における腎摘除術式の相違による予後について……………里見 佳昭・ほか 19
 膀胱腫瘍に関する臨床研究 第1報：膀胱腫瘍の臨床統計的観察……………深津 英捷・ほか 19
 膀胱全摘除術後、早期に再発した膀胱癌症例の臨床病理学的検討……………藤岡 知昭・ほか 19
 泌尿器科領域における CT (Computed Tomography) の適応について……………岡田 敬司・ほか 19
 加齢による腎の形態の変化に関する臨床的研究 —^{99m}Tc-DMSA 腎シンチグラフィによる加齢に伴う腎の形態の変化について……………細川 進一・ほか 33
 人工透析に関する臨床的研究
 第2報：透析初期における体重の管理について……………細川 進一・ほか 33
 人工透析に関する臨床的研究
 第3報：透析初期の症例の肝機能について……………細川 進一・ほか 45
 腎血管筋脂肪腫の1例(本邦93例の統計)……………加藤 次朗・ほか 53
 大阪警察病院泌尿器科における12年間の手術統計……………中森 繁・ほか 59
 腎性高血圧症に対する angiotensin I converting enzyme inhibitor (SQ 14225) の使用経験……………松田 公志・ほか 63
 慢性前立腺炎に対する Esberiven の使用経験
 —超音波断層法および排尿機能検査法による効果判定の検討……………秋山 隆弘・ほか 71
 下部尿路疾患に対する Flaxoxate hydrochloride の臨床効果に関する検討……………土田 正義・ほか 79
 尿管結石の自然排出について
 —とくにツムラ猪苓湯の影響についての検討……………八竹 直・ほか 89
 八味地黄丸の使用経験……………北川 龍一・ほか 97
 泌尿器科領域における八味地黄丸の治験……………後藤 静・ほか 103
 第4回 大阪泌尿器科臨床医学会学術集会招請講演：射精障害の基礎と臨床……………木村 行雄 109

CONTENTS

- Postoperative Results as Related to Type of Nephrectomy for Renal Cell Carcinoma……………Y. Satomi et al. 1
 Clinical Studies on Tumor of the Urinary Bladder
 I. Statistical and Clinical Studies on Tumor of the Urinary Bladder……………H. Fukatsu et al. 9
 Early Recurrent Bladder Cancer after Total Cystectomy:
 A Clinico-Pathological Review……………T. Fujioka et al. 19
 Computed Tomography in Urological Field……………K. Okada et al. 25
 Clinical Studies of Renal Morphological Changes with Aging
 —Demonstrating by Using ^{99m}Tc-DMSA Scintigraphy……………S. Hosokawa et al. 33
 Clinical Studies on Hemodialysis (The Second Report)
 —Control of Body Weight in Initial Cases on Hemodialysis……………S. Hosokawa et al. 39
 Clinical Studies on Hemodialysis (The Third Report)
 —Changes of Liver Functions in the Initial Period of Hemodialysis……………S. Hosokawa et al. 45
 A Case of Renal Angiomyolipoma: Report of a Case and a Review of 93 Cases in Japan……………J. Kato et al. 53
 A Statistical Observation of the Operations at the Department of Urology, Osaka Police Hospital……………S. Nakamori et al. 59
 Antihypertensive Effect of the Orally-Active Converting Enzyme Inhibitor (SQ 14225) in Renal Hypertension……………T. Matsuda et al. 63
 Clinical Experience with Anti-Inflammatory Agents Esberiven for Chronic Prostatitis —Analysis of Efficacy by Ultrasonotomography and Urodynamic Study……………T. Akiyama et al. 71
 Clinical Evaluation of Flaxoxate Hydrochloride on Lower Urinary Tract Disorders……………S. Tsuchida et al. 79
 A Study on Spontaneous Passage of Ureteral Stone —Effect of Tsumura Choreito on Ureteral Stone……………S. Yachiku et al. 89
 Effects of Hachimijiohgan on Bladder Outlet Obstruction……………T. Nagawa et al. 97
 Clinical Experiences of Hachimijiohgan in the Urogenital Diseases……………T. Goto et al. 103
 Ejaculatory Disturbance. Physiology, Clinical Observations and Treatment……………Y. Kimura 109

Editor: Prof. Osamu Yoshida

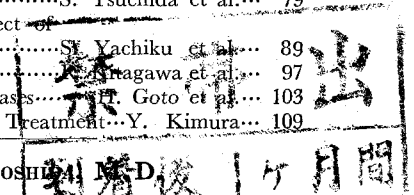
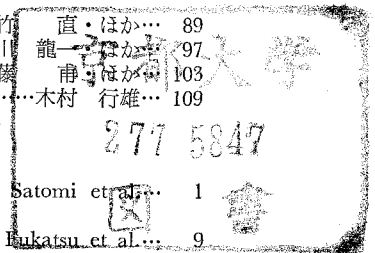
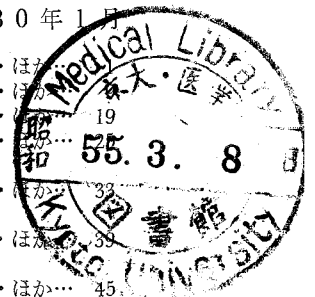
Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606.

京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol.



編 集 後 記

(6)

座右銘というものはそれがいかに立派でも実行していなければ、まさに絵にかいた餅にすぎない。また、「私は何々を座右銘としている。」などと臆面もなくいわれると、こちらが気恥しくなることもある。

しかし、いろいろな人物の座右銘の中には、まことに感心させられるものもあるし、その人物にぴったりと一致するものもありなかなか興味深い。

先日ある先輩が禅寺の和尚に書いてもらったという座右銘をみせてもらった。

「お い あ く ま
こ ば せ る な
る る る な
な な な な」

というのである。一番上の字を横に読むと、「おいあくま」となる。洒脱で面白いと思った。

(O. Y.)

編 集 委 員

石 神 裏 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 音 夫	(副主幹) 吉 田 修	(主幹)

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 沁尿器科
紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原翻を別につけてください。稿訳の実費は申し受けず。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PH などを使用し、は不要です。また BDN IVP NPN PSP TUR などもを要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第1号 1980年1月25日 印刷 1980年1月31日 発行

創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤 二 定価 500円(送料別)

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入